

# 巻 頭 言

## 『道徳教育学研究』の目指すもの

平成 30 年（2018 年）、道徳教育に特化した、日本で最初の大学院として、麗澤大学大学院学校教育研究科が開設された。

本研究科では、現職教員、教員経験者、教員免許取得者を対象に、道徳教育の専門研究者・教育者の養成が行われている。

昨年度は、多くの関係者のご支援に支えられ、完成年度を迎えることが出来た。

その経験を土台に、さらに大学院の研究活動を活発にし、その成果を学界と教育界、そして一般社会に問うために、本年（令和 2 年）2 月 15 日、麗澤道徳教育学会が設立された。

このような、大学院を母体とする学会の創設も、道徳教育学の分野では、日本で最初となる。

設立総会で読み上げられた「設立趣意書」を、ここに改めて引用したい。

道徳の教科化に伴い、教科教育学としての道徳教育学の確立が焦眉の課題となっている。この課題を達成するためには、道徳教育の理論と実践を相互に媒介させながら、より高次の統一を目指さなければならない。そのためには、今まで以上に、学問領域としての道徳教育学を活性化させ、理論と実践の対話を促進しなければならない。

一方で、本学は 1935（昭和 10）年の創立以来、道徳の科学的研究とそれに基づく教育の展開に邁進してきた。こうして今日も蓄積され続けている知見と経験は、学校の道徳教育の充実に還元・貢献できるものであると確信している。

このような問題意識を構え、麗澤大学大学院学校教育研究科を中心とする有志たちが集い、ここに麗澤道徳教育学会を設立することとなった。

本学会では、年次大会の開催や学会誌『道徳教育学研究』の刊行、研究会・講演会の開催などを通して、会員相互の研鑽と交流を盛んにしていきたいと考えている。また、わたしたちは本会を、学問的のみならず、人間的にも、互いを高め合うことの出来る場に成長させていきたいと願っている。

多くの同学の士が本会の設立趣旨にご賛同され、ご協力下さることを切に望む次第である。

令和二年二月十五日

麗澤道徳教育学会設立準備委員会

ここで謳われている、道徳教育の理論と実践の対話、そして統一は、本大学院の理念でもある。本学会は、その理念を、会員相互の研鑽によって具現化し、その成果を学会誌のかたちで発信しようとするものである。

ここに『道徳教育学』を創刊する所以である。

「道徳教育学」という学問名称をタイトルに掲げた学術誌の創刊も、日本で最初となる。

本誌は、その誌名に相応しい内容を目指さなければならない。

そのためにも、学会を挙げて、議論を盛んにし、研究の水準を高めていかなければならない。

本誌は、研究論文、実践研究論文、研究ノート、講演録、書評、編集後記で構成されている。

研究論文、実践研究論文、研究ノートについては、誌名にふさわしい学術性を備えたものであるかどうか、厳正に査読し、精選された原稿のみを掲載する方針である。

会員各位の一層のご研鑽と関係の皆様方の更なるご支援、ご鞭撻を切にお願い申し上げる次第である。

麗澤道徳教育学会設立発起人を代表して  
川久保 剛